

3月16日(土)

相手の考えを理解するための 質問レッスン 【フルワーク編】

コミュニケーションの秘訣は 質問をすること

コミュニケーションが得意な人という、どんな人を想像しますか？ 流暢に話す人？ 相手を説得するのがうまい人？ 聞き上手な人？ いろんなタイプの人を思い浮かべますが、話すことと聞くこと、どちらか一方だけではコミュニケーションは成り立ちません。質問は、コミュニケーションの二つの要素〈話す〉と〈聞く〉を繋ぐもの。話すのが苦手な人、聞くのが苦手な人、どちらにとっても助けとなります。

相手の考えを理解するための 質問とは？

質問力に関する本はたくさんありますが、読むだけで質問力を鍛えることはできません。また、情報を引き出す質問と、気持ちを知るための質問、相手の考えを理解するための質問は、全く異なります。たとえば誰かの相談にのったとき、具体的なアドバイスをしたら「そういうことじゃない」と言われたり、相談相手に共感できなくて困ったことはありませんか？あるいは、相手の質問に「責められている」と感じてしまったことはないでしょうか？

こうした問題は、そもそも相談や質問の種類を理解していないことから生じます。なかでも、苦手な人が多いのが、相手の考えを理解するための質問です。

この講座では、そもそも相手の考えを理解するとはどういうことか、そのポイントを学んだ後、国内外で開発されたワークを通して、どのような質問が効果的か実践的に学びます。

【プログラム内容】

・哲学者の道具箱

状況に応じた質問の様々なタイプを分かりやすく記入したカードを使いながらレクチャーしていきます。（*ハワイの哲学の授業で使われている「Good Thinkers' s Toolkits」をもとに作成）

・ソクラテスゲーム

三人一組のチームになっていただき、質問する役、質問に答える役、二人の問答を記録する役を交代制で行い、実践的で役割を体験しながら、効果的な質問を学びます。

・相互質問法

五人一組になっていただき、一人が質問に答える役、他のメンバーが質問する役を交代制で行います。自分以外の質問者がいるので、参考にしていきながら、様々な切り口の質問のタイプを学んでいきます。

3月17日(日)

相手の考えを理解するための 対話カフェの方法と質問レッスン 【入門編】

対話づくりのなかで、

- ・立場の異なる参加者が対等に話し合うためのポイントは？
 - ・進行役はどのように振舞えばいいのだろうか？
 - ・対話が深まるってどういうこと？ 深めるための方法は？
- といった疑問や悩みはありませんか？

この講座では、「誰もが対等に話し合う」「1つのテーマを深く探求する」といった特徴をもつ哲学対話の実践から、対話づくりのポイントを学びます。

最初に、哲学対話の特徴や構成要素をレクチャーし、その後、対話づくりの要となる問いと質問の技法を実践的に身につけるためのワークを行います。

【プログラム内容】

・対話とはなにか？～哲学カフェの実践から～

哲学カフェの歴史や特徴、必要な要素に関するレクチャーを通して、対等に話し合い対話を深めるために

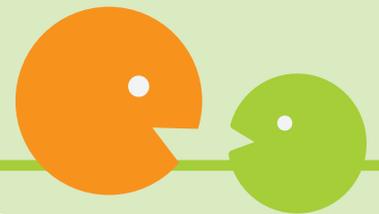
必要な環境づくりや進行のポイントなどを学びます。進行や対話づくりに関する質問にもお答えします。

・問いの技法～みんなで話せるテーマって？

どんな場合にどんな問いやテーマが適切か、ワークシートを使って学びます。また、実際につくったテーマで対話を実践してみましょう。

・質問の技法～相手の考えを理解するって？

1日目の質問レッスンのショートバージョンです。対話を深めるために必要な、相手の考えを理解するための質問について、レクチャーとワークを通して学びます。



ゲストファシリテーター

松川絵里(まつかわ・えり)さん

哲学カフェ、対話セミナーのファシリテーター。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。学生時代より哲学カフェの活動をはじめ、2005年大阪大学臨床哲学研究室のメンバーを中心に、哲学対話を実践・サポートする団体「カフェフィロ」を設立。2014年4月から2016年3月まで代表を務める。大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任研究員(2010年8月～2016年3月)を経て、現在は岡山を中心に、カフェ、地域のコミュニティスペース、介護施設、障害者支援施設、病院などで哲学カフェや対話セミナーのファシリテーターを務める。

主著『哲学カフェのつくりかた』(大阪大学出版会)、共訳書『中学生からの対話する哲学教室』(玉川大学出版部)